

野幌森林公園 ー久しぶりの春探鳥会 ー

芹 沢 裕 二

皆さん始めまして。……ご存知の方もいるかと思いますが、私は野幌森林公園の大沢口にある喫茶店”樹“で大仏さまのように座り、ある時には店の前でダイコンを売ったりする、そう……あの人なのです。本業は、一応学生であるため、毎年春頃の季節は、勉強・試験とで忙しく、森には入れず家で缶詰の状態なのです。今年は偶然に暇ができたので、探鳥会に参加しました。当日は、深い雪も前日から降った雨により、道も固くなり歩き易く、絶好な日和になりました。愛護会と野鳥の会とも人数が少なかったために、合同の探鳥会ということになりました。

森に入ると、すぐにカラやケラたちが、我々を迎えてくれ好スタートでした。生憎、鳥の数は多くても種類の方はすくない状態でした。ユズリハ・桂コースと歩きましたが、歩けど歩けどもカラ・ケラのオソパレードでした。そう……、ユズリハコースの終点あたりで、クマゲラの声……という人が出ました。参加者は、その声のきこえる方に行き、その声を確認しました。しかし、種の数はいりません。とりあえず、大沢園地までと歩きました。園地についた途端、我々の頭上をオオタカが飛び、そしてレソジャクが飛びだし、そして沢山のトビが上空を舞ったのです。私はこの最後の鳥の出かたにしはしびっこりました。最後に「鳥合せ」をし、解散しました。久しぶりに、森林公園の早春の森を鳥とともに楽しませて貰いました。



PL. クマゲラ 4.3.6 新城 久